

いこい通信

～家族と施設をつなぐ架橋～

2021年10月

秋号（季刊）

発行 特別養護老人ホームいこい

インフルエンザワクチン、今年は打つべき？

10月に入り緊急事態宣言およびまん延防止が全て解除となりました。新型コロナウイルスのピークは一旦越えつつあるように見えますが、収束するまで先はまだまだ長そうです。

そして、今月（10月）からは、インフルエンザワクチンの接種が始まります。昨年は新型コロナの影響もあり、希望者が非常に多く、10月はややパニックになりましたが、結局インフルエンザは全く流行せずに終わったのはご存じのとおりです。

では、今年のインフルエンザワクチンは打つべきなのでしょうか？迷っている方も多いと思います。

昨年の状況を振り返ってみると、1月に新型コロナが出現、4月には世界中に広がり、ロックダウンなどの措置が行われました。その結果、通常3月頃から流行が始まり6月頃にピークを迎える南半球のインフルエンザは全く流行しませんでした。その後、日本を含む北半球でも全く流行しなかったのはご存じのとおりです。そして今年もやはり南半球では流行していません。

この状況を考えると、やはり今年もインフルエンザは流行しないのではと考えるのは自然なことだと思います。しかし、本当にそうなるのかは誰にもわかりません。

一つ例をあげると、今年6～7月に、突如子供たちの間でRSウイルスが大流行しました。本来は9月頃に流行するウイルスが、例年よりも2か月早く流行し、さらにその規模は例年以上でした。

その原因としては、本来RSウイルスは2歳までにほぼ全員が感染するといわれていますが、昨年は感染対策をした結果、RSウイルスにかからなかった子が多くいて、その子たちが初感染を起こしたためではないかといわれています。つまり集団免疫が弱かったことが示唆されているのです。ただし、ウ

イルスの挙動については、必ずしもすべてが簡潔に説明できるとは限りませんし、まだまだ分からないことが数多くあります。

そして、昨年インフルエンザが流行しなかったことを懸念する意見もあります。昨年はほぼすべての方がインフルエンザに罹患していません。実はその前のシーズン（2年前）も流行は小さいものでした。そのため2年間にわたって感染によって免疫をつけるといった機会が奪われたのです。これはインフルエンザが流行する世の中になってからは初めてのことで。

つまり、今年のインフルエンザに関しては、流行しない可能性も低くはないと言えますし、流行する可能性もないとは言えないのです。

そして社会的には、まだまだ発熱に対して気を使わなければならない状況は続くと思われれます。もしインフルエンザが流行したら、発熱患者診療を受け入れる医療機関に非常に多くの方が押し寄せると、大きな混乱を招く可能性があります。最悪、医療崩壊の危険もあります。

さらに、インフルエンザワクチンも一定の発症、重症予防効果はしっかりと示されていますし、重篤な副反応も非常にまれです。

そのような状況を考えると、ワクチンを打つことでそのリスクを減らせるのであれば、打っておいていただきたいと考えています。

➤ **新型コロナとインフルエンザの両ワクチンを接種する場合、わが国では「前後2週間は他のワクチンを接種しないこと」とされています。**

➤ **同封の「インフルエンザ予防接種予診票」のご記入にご協力をお願いします。 ※ 10/20（水）まで**



新型コロナ、高齢者施設ブレイクスルー感染増加

福祉施設における新型コロナウイルス感染症の発生が、9月27日までに累計1万2851カ所になりました。9月は971カ所で発生しており、発生施設数は8月の3分の1程度に減っています。

1週間当たりの感染施設数は、8月第3週の772カ所をピークに減り続け、9月第1週が474カ所、第2週が273カ所、第3週が167カ所となった。1週間当たりの感染施設数が200カ所を下回るのは7月第3週以来2カ月ぶりのことで、ようやく第5波収束の兆しが見えてきました。

9月、施設種別の新型コロナ感染数は、

保育所・こども園	634カ所	65%
高齢者施設	184カ所	19%
学童保育施設等児童施設	90カ所	9%
障がい者施設	44カ所	5%
その他	-	2%

となっています。

9月に入り学童保育や放課後デ이의発生割合が減少。学校が始まったことで利用者数や長時間利用が減ったことが要因の一つとみられています。

一方、高齢者施設での発生割合は増加しています。ワクチンを2回接種しても感染する“ブレイクスルー感染”が増えており、職員・利用者39人が感染した福井県越前市の介護老人保健施設、11人が感染した三重県四日市市の特別養護老人ホームでは、感染者全員が2回接種していたにもかかわらずクラスターが発生しています。(参照：福祉新聞)

<変異株の状況>

・アルファ株 (疑い含む)	1,746人
・ベータ株 (疑い含む)	7人
・ガンマ株 (疑い含む)	0人
・デルタ株 (疑い含む)	29,961人
・株不明 (検査中含む)	3,458人

※9月30日18時更新時点 合計35,172人

新型コロナワクチン3回目のブースター接種

国内では9月までに2回目の新型コロナワクチン接種を6割が終え、1回目を8割の方が打ち終わっています。次に考えるのが、「ブースター接種」と呼ばれる新型コロナウイルスワクチンの3回目(追加)接種についてですが、英では既に9月から新型コロナワクチン3回目のブースター接種が本格的にスタートされています。

厚生労働省は9月22日、自治体向けのオンライン説明会を開催しました。今年3~4月に2回目の接種を受けた医療従事者ら104万人について、早ければ12月に追加接種するという想定を示しています。また、高齢者らの接種は年明けからの見通しとしており、各自治体に準備を求めました。

説明会の資料によると、来年1月には、今年5月に2回目の接種を受けた医療従事者ら200万人、高齢者61万人、その他の一般住民43万人の接種を想定しています。その後は2月に1399万人、3月2339万人、4月2251万人が対象として想定しています。

市町村は今後、①国のワクチン接種記録システム(VRS)や予防接種台帳を確認、②2回目接種が終わって一定期間が経った人を抽出、③予診票と一体になった新しい様式の接種券を11月から段階的に発送、④追加接種用の米ファイザー製と米モデルナ製のワクチンは、11月中に医療機関への配送、が始まる予定です。

※厚労省は9月17日に開いた専門家の分科会で、追加接種の必要性を認めた上で、接種間隔は2回目接種からおおむね8カ月以上とし、使用ワクチンは2回目までと同じ種類を基本としつつ、海外の先行事例をふまえ、別の種類も認めるか、改めて検討することとしています。



面会について・・・もう暫くお待ちください

緊急事態宣言が解除され、行動制限の緩和を段階的に進めていくことになりました。解除に併せて政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」も変更されましたが、高齢者施設における面会の取り扱いは、従来どおりの制限を続けることになっています。

9月28日に変更された基本的対処方針では、「ワクチン・検査パッケージ」の実証実験を行い、その後行動制限の縮小・見直し等の具体化を進めるとされました。これは、ワクチン接種証明書や陰性証明書を提示することで、様々な行動制限を緩和させていこうということで、その一つに「医療機関や高齢者施設、障害者施設への入院・入所及び入院患者・施設利用者との面会」の緩和が含まれています。

具体的な日程としては、10月中旬に飲食店やイベントなどで感染対策技術の有効性を検証する実証調査を行い、11月ごろに緩和の具体策が示されると思われます。政府は、ワクチン接種の証明をオンラインで発行するシステムも年内に実現させるとしています。

ワクチンの3回目接種のスケジュールが示され、経口治療薬の治験も進んでいます。徐々に面会までの道筋が見えてきましたが、冬場に向かって第6波が確実にやってくるといわれています。また、インフルエンザの流行も気になるところです。日常生活回復に向けた感染防止対策や感染状況を見ながら、面会再開を目指してまいりますので、もう暫くお待ちください。

(参照:「ワクチン接種が進む中における日常生活回復に向けた考え方」R3.9.9 新型コロナ感染症対策本部ほか)

※「**ワクチン・検査パッケージ**」とは、ワクチン接種歴及びPCR検査等の検査結果を基に、他人に二次感染させるリスクが低いことを証明する仕組み。ワクチン接種歴は2回目接種後2週間経過から一定期間を有効とする案や、検査結果は医療機関や精度管理を行っている民間検査機関での証明とする案が考えられています。欧米では「衛生パス」などと呼ばれ、制度導入が進んでいます。屋内飲食や公共施設、公共交通機関などの利用にパス所持を義務付けている国もあります。

年末年始ショートステイ送迎休業のお知らせ

年末年始「12月31日～1月3日」まで施設送迎を休業させていただきます。この期間に入退所を希望される方は、ご家族送迎でのご対応をお願い致します。尚、1月4日からは通常対応させていただきます。ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解ご協力をお願い致します。

秋まつり
「中止」

面会制限の継続もあり、秋まつりは「中止」とさせていただきます。

いこい
PCR 検査結果

10/8 現在まで陽性者数“0人”
※毎週職員のPCR検査を実施中

特定技能 介護職員 のご紹介



モナリサ
ブタルブタル



フェブリナ
ホトマイタ
シアラガン



アニサ
ガネシャリ



昨年より特定技能の介護職員としてインドネシアから10名程度受入れています。その内3名が、来年1月の介護福祉士試験を受験予定です。3人とも母国の看護学校を卒業し、日本のEPA介護職員として3年間の実務経験を積みました。昨年いこいに入職し、現在、介護福祉士試験合格に向けて、毎日オンライン授業やテキストで勉強に励んでいます。とても真面目で明るく、日本語も上手なので、ご利用者様からの信頼もあつく人気があります。

「敬老の日」の様子



「よさこい踊り」を楽しんでいただきました。職員は集まって練習することができなかったので、オンラインで個別に練習し、当日まで準備をすすめてきました。涙を流して喜んでくださった方もおられ、とても良い一日となりました。今年、白寿2名、米寿3名、喜寿1名の方がおられました。本当におめでとうございます。



チョコレートフォンデュ



やっぱり甘い物を食べているときが一番の幸せ♡



お祝い御膳に、おやつも選べて大満足です！

7・8月の行事食

- ・7月のうなぎは、本当に大きくてびっくり!! 今年は大奮発です。
- ・8月のカジキフライもピリッと美味しく、梅肉和えもさっぱりして最高でした♡



社会福祉法人 鵜
 特別養護老人ホームいこい
 〒250-005 神奈川県小田原市久野 4406-1
 Tel. 0465-43-8011 Fax. 0465-43-8023
 Mail. info@i-koi.net



<http://i-koi.net>

